

# 「ITガバナンス入門」コース

## 「テキスト」

提供：情報戦略モデル研究所

## コースの目標

**ITガバナンスのために基礎となる知識とその構築要件を修得する**

- ◆ITガバナンス必要性と経営要件との繋がりを整理できる
- ◆ITガバナンスに関係するメソッドロジー知識を理解出来る
- ◆COBIT4.0での、IT成熟度とビジネス達成目標展開の手順を理解できる

## コースの主旨

- ◆ITガバナンスとは、『経営戦略に基づいた情報システムを構築し、運用していくためのIT資源の統治』です。
- ◆企業の成長の第1の要因に効果的な**ビジネスプロセス改革**があります。この改革にはITが関係しないものはありません。ITが経営のツールから**経営実践の仕組み**へと替わってきました。
- ◆エンタープライズシステムの観点で「**効果的なIT投資、構築、運用に係るITの統治をすること**」が重要な位置を占めることになりました。

このITガバナンスの必要性、知識要件、構築要件をCOBIT4.0とその他のメソッドロジーのもとに**体系的に修得**すること。

## カリキュラム構成

| 章と目的                          | 単元             | 研修項目   |
|-------------------------------|----------------|--|
| <b>第1章 ITガバナンスが求められる背景と要件</b> | 1. ITガバナンスとは   | (1) ITガバナンスの定義                               |
|                               | 2. 経営活動とIT環境   | (1) 経営活動とIT環境<br>(2) ITガバナンス                 |
|                               | 3. 経営戦略と情報システム | (1) 経営戦略とIT<br>(2) 経営戦略と情報システム               |
|                               | 4. ビジネスプロセス改革  | (1) ITガバナンスとビジネスプロセス改革<br>(2) 業務プロセスとITガバナンス |
|                               | 5. 経営成熟度とIT成熟度 | (1) 経営成熟度とIT成熟度<br>(2) ミニタリングシステム            |
|                               | 6. ITガバナンスの要件  | (1) COBITのITガバナンス定義<br>(2) ITガバナンスフレームワーク    |

## カリキュラム構成

| 章と目的                     | 単元                        | 研修項目                                       |
|--------------------------|---------------------------|--|
| <b>第2章 ITガバナンスの知識エリア</b> | 1. ITガバナンス構築のメソッドロジー      | (1) ITガバナンス要件達成プロセス<br>(2) COBITを基にしたメソッド  |
|                          | 2. COBITフレームワーク構築         | (1) COBITの構築要素<br>(2) ITガバナンスの目標<br>(3) 評価 |
|                          | 3. 内部統制、モニタリング、リスク管理のメソッド | (1) ITガバナンスとリスク<br>(2) ITガバナンスとリスク         |
|                          | 4. 調達・開発ドメイン知識エリア         | (1) PMBOK<br>(2) ITIL<br>(3) ITIL          |
|                          | 5. 運用ドメイン知識エリア            | (1) ITIL<br>(2) ITIL<br>(3) ITIL           |

## カリキュラム構成

| 章と目的                      | 単元              | 研修項目  |
|---------------------------|-----------------|---|
| <b>第3章 COBITのビジネス目標構築</b> | 1. ビジネス目標達成フレーム | (1) COBITのビジネス目標達成プロセス<br>(2) エンタープライズアーキテクチャ |
|                           | 2. ビジネス達成目標の展開  | (1) ビジネス達成目標の展開フレーム                           |

## 第1章 ITガバナンスが求められる背景

### 章の概要

1. ITガバナンスとは
2. 経営活動とIT環境
3. 経営戦略と情報システム
4. ビジネスプロセス改革
5. 経営成熟度とIT成熟度
6. ITガバナンスの目標

## 1.ITガバナンスとは

- 1.1 経済産業省のITガバナンス
- 1.2 内部統制のITガバナンス
- 1.3 PMBOKのガバナンス
- 1.4 COBITのITガバナンス

## 1.1 経済産業省のITガバナンスの定義

企業が**競争優位性構築**を目的に、IT(情報技術)戦略の**策定・実行をコントロールし、あるべき方向へ導く組織能力**

平成11年通商産業省

### 1.2 内部統制のITガバナンスの定義

**内部統制の定義:**  
内部統制とは、企業内に「業務の効率性及び正確性」(財務報告の信頼性)、「事業活動の健全性及び持続可能性」(資産の損失防止)を実現するための「体系的な仕組み」を指す。

**内部統制の目的:**  
1. 業務の健全性及び正確性の確保  
2. 業務の効率性の向上  
3. 業務の透明性の確保  
4. 資産の保護

**内部統制の基本的要素:**

| NO. | 要素     | 説明                         |
|-----|--------|----------------------------|
| 1   | 組織体制   | 業務の遂行に必要となる組織体制の構築         |
| 2   | リスク評価  | 業務遂行に必要となるリスクの特定、評価、優先順位付け |
| 3   | 統制活動   | リスクを許容範囲内に抑えるための統制活動の実施    |
| 4   | 情報伝達   | 統制活動の実施に必要な情報の伝達           |
| 5   | 監視活動   | 統制活動の実施状況を監視し、必要に応じて改善     |
| 6   | ITへの対応 | ITシステムの導入・運用に伴うリスクの管理      |

ポイント: 内部統制の目的を達成するために、基本業務遂行の過程で自動的に実行されるプロセス

### 1.3 PMBOKのガバナンス

**PMBOKのマネジメント定義**

**プロジェクトとは:**  
「独自の製品またはサービスを創出する有期限の活動」

**プロジェクトマネジメントとは:**  
プロジェクトの要求事項を満足させるために、知識、スキル、ツールと技法をプロジェクト活動へ適用することである。プロジェクトマネジメントは、「立上げ」、「計画」、「実行」、「監視コントロール」、「終結」などのプロジェクトマネジメント・プロセスの適用、統合を行うことによって達成される。

ポイント: プロジェクトマネジメントプロセスを適用し、要求事項を達成する活動

### 1.4 COBITのITガバナンス

**ITガバナンスとは、**  
「準備すべき優れた実践方法(手法)を収集、整理し、これを仕組みとして定着させることによって、企業におけるITが**確実にビジネス目標をサポートできる**ようにするもの」

ポイント: ビジネス目標を達成するために、ITが仕組みとしてサポートできる仕組み

### 参考:ERMのリスク分類

1. ERMの目的: 事業目標の達成  
2. 統制の対象: 目標達成に係る不確実性

| リスクの種類 | リスクの内容  | 現在の統制                        |               |
|--------|---------|------------------------------|---------------|
| 内部リスク  | 戦略リスク   | 与信先の財務状況悪化、資産の減少による損失発生リスク   | 内部統制          |
|        | 業務リスク   | 資金・資金運用等により企業の財務収支に影響を及ぼすリスク |               |
|        | 法規リスク   | 法令・規制の違反、平等取引契約締結により損失発生リスク  |               |
| 外部リスク  | 業務プロセス  | 業務プロセスに起因するリスク               | 内部統制、ISMS、SLM |
|        | 経営環境リスク | 政治・経済情勢等の変化により損失発生リスク        |               |
|        | 災害リスク   | 地震等による設備等の有形財産への被害が生じるリスク    |               |

出典: 財務省、財務庁

### 「ITガバナンスとは」のまとめ

- 経営者のITガバナンス: 経営戦略に基づいてITを構築・運用する組織的コントロール能力。
- 日本国内統制: 内部統制の目的を達成するために、基本的要素をITの活用で効果的に統制するプロセス。
- PMBOK: プロジェクトマネジメントプロセスを適用し、要求事項を達成する活動。
- COBIT: **ビジネス目標を達成するために、ITがサポートできる仕組み。**

### 6. ITガバナンスの要件

- COBITのITガバナンス定義
- ITガバナンスの重点領域
- ITガバナンスフレームワーク

### 6.1 COBITのITガバナンス定義

**ITガバナンスとは、**  
「準備すべき優れた実践方法(手法)を収集、整理し、これを仕組みとして定着させることによって、企業におけるITが**確実にビジネス目標をサポートできる**ようにするもの」

そのために、  
「ITのコントロールに係る何らかのフレームワークが必要」

**COBIT**

ポイント: ITガバナンスとしてビジネス目標達成のコントロールのフレームワークがCOBITである

### 6.2 ITガバナンスの重点領域

「**戦略との整合**」  
「**情報の信頼**」  
「**資源の管理**」  
「**リスクの管理**」  
「**成果の測定**」

ポイント: ビジネス目標を達成するITガバナンスの要求事項としてこの重点領域をCOBITで統括している

### 6.3 ITガバナンスフレームワーク

**ITガバナンスのための要件**

- IT戦略とビジネス戦略との整合性の確保
- IT戦略およびIT達成目標の企業内への浸透
- 戦略と達成目標の実現を促進する組織構造の構築
- ビジネス部門とIT部門間、および外部パートナーとの建設的な関係の構築と効果的なコミュニケーションの確立
- IT成果の測定

**コントロールフレームワークの要件**

- ビジネス要件とITとの関係付けができる
- これらの要件に対するIT成果の測定ができる
- ITに関連するアクティビティの一般的なプロセスモデルへの体系がある
- 活用する主なIT資産の特定できる
- 考慮すべき経営上のコントロール目標の定義できる

ポイント: ITガバナンスの要件は、その実現のフレームワーク向け適用を前提の要件として定義している

### 「ITガバナンスの要件」のまとめ

1. ITガバナンスとしてのビジネス目標達成のITコントロールのフレームワークはCOBITである。
2. ビジネス目標を達成するITガバナンスへの要求事項として8つの重点領域をCOBITでは把握している。
3. ITガバナンスの要件は、その実現のフレームワークをIT活用を前提の要件として定義している。

65

### 第2章 ITガバナンスの知識エリア

#### 章の概要

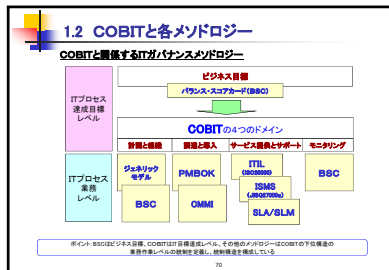
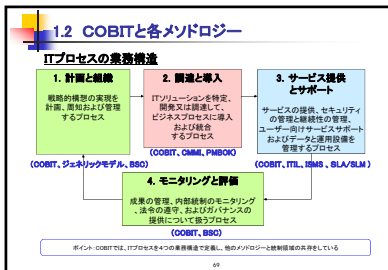
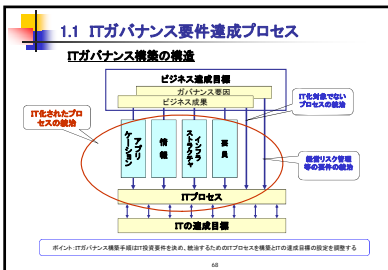
1. ITガバナンス構築のメソドロジー
2. COBITフレームワーク構成
3. 計画と組織&モニタリングドメイン知識エリア
4. 調達と導入ドメイン知識エリア
5. サービス提供とサポートドメイン知識エリア

66

### 1. ITガバナンス構築のメソドロジー

- 1.1 ITガバナンス要件達成プロセス
- 1.2 COBITと各メソドロジー
- 1.3 IT成熟度メソドロジー

67



### 1.3 IT成熟度のメソドロジー

| モデル       | 目的             | ビジネス | ITプロセスでの成熟度 |    |    |    |
|-----------|----------------|------|-------------|----|----|----|
|           |                |      | 計画          | 調達 | 開発 | 運用 |
| 日本経営品質委員会 | 経営品質           | ●    |             |    |    |    |
| COBIT     | ITガバナンス        |      | ●           | ●  | ●  | ●  |
| SPC/CMMI  | ソフトウェア開発プロセス能力 |      |             | ●  | ●  |    |

71

### 「ITガバナンス構築のメソドロジー」のまとめ

1. ITガバナンス構築手順はIT投資要件を決め、統治するためのITプロセスの構築とITの運用目標の設定を前提とする。
2. COBITでは、ITプロセスを4つの業務構造で定義し、他のメソドロジーと統制領域の共存もしている。
3. BSCはビジネス目標、COBITはIT目標達成レベル、その他のメソドロジーはCOBITの下部構造の業務作業レベルの統制を定義し、統制構造を構成している。
4. 業務プロセス能力を表すITガバナンスの成熟度の定義は、COBIT、SPA/CMMIで設定されている。

72